
2016年12月期 決算説明資料



CNC超小型立形研削盤
USG-1

株式会社 太陽工機

将来予測について

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断及び仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性及び変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

決算概要

損益計算書(P/L)

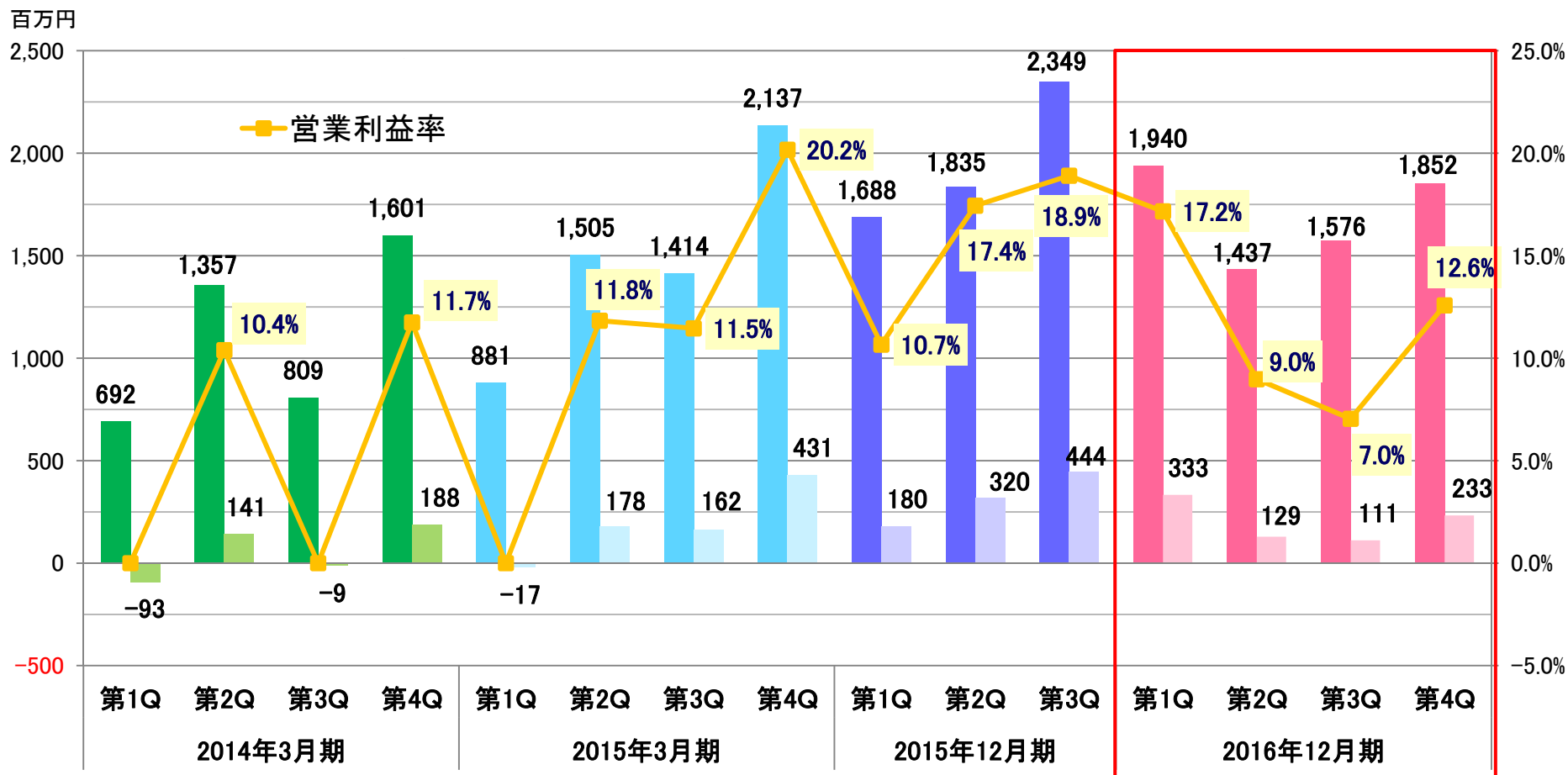
売上は計画を達成。

(百万円)	参考 2015年 (1~12月)	2016年12月期 通期 (1~12月)		2016年12月期 通期
	実績	実績	対前年同期比	計画(公表値)
売上高	8,011	6,807	15.0 %減	6,800
営業利益	1,376	806	41.4 %減	930
(営業利益率)	(17.2%)	(11.8%)	5.4 point減	(13.7%)
経常利益	1,354	791	41.5 %減	910
当期純利益	883	489	44.6 %減	580

※2016年12月期と比較対象となる2015年12月期は、決算期変更により2015年4月～12月までの9ヶ月決算となっております。
そのため、本資料では今期と同期間となる2015年1～12月との比較を行っております。

売上高・営業利益(四半期別推移)

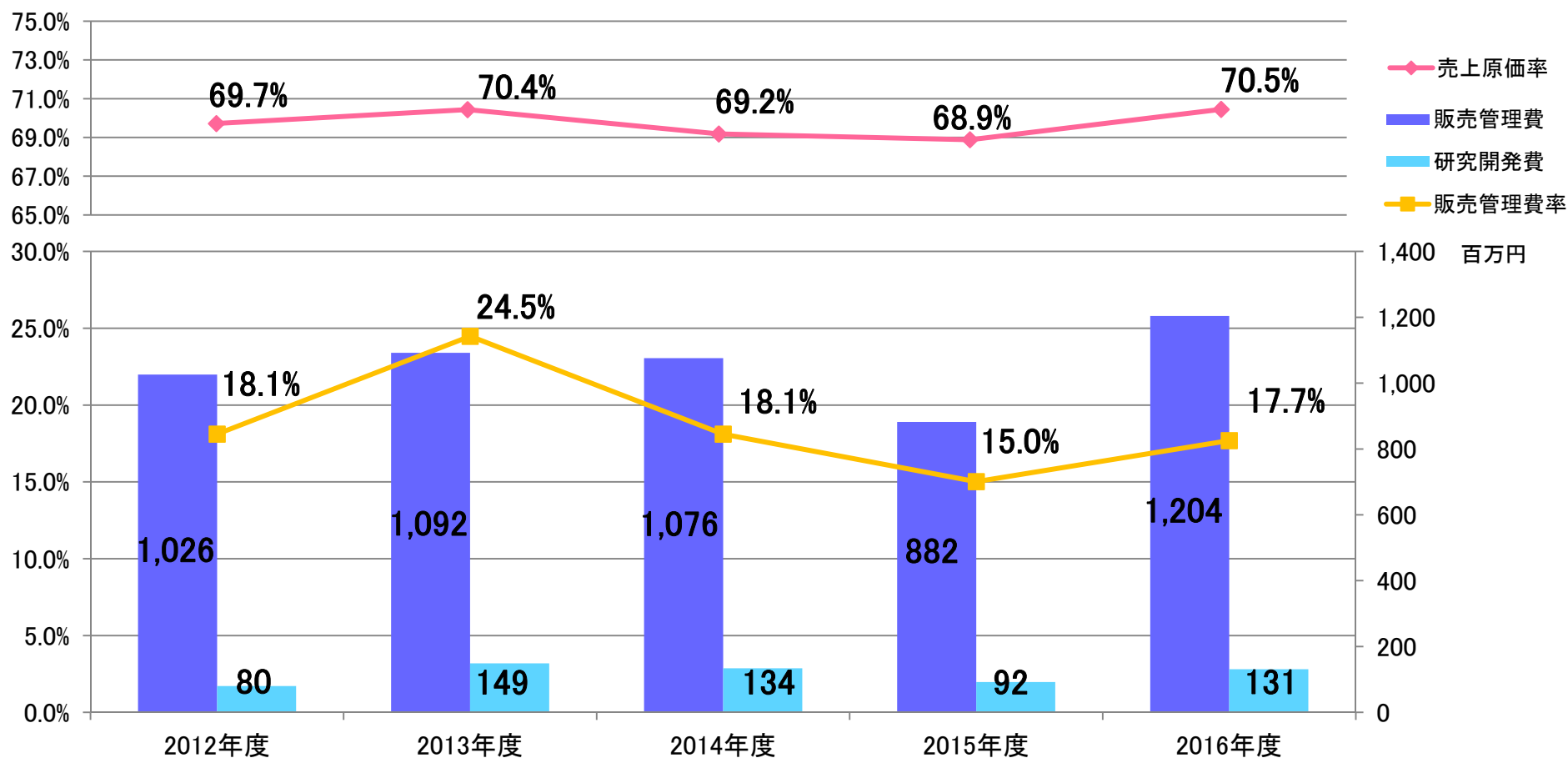
売上水準は徐々に増加、第4四半期では利益率も改善。
今後も売上増加を狙う。



※2015年12月期は決算期変更により2015年4月から12月までの9ヶ月決算となっております。

売上原価率・販売管理費率

システム機の増加で、原価率はやや上昇。
2017年度はノウハウの蓄積により70%以下へ。



システム機：ロボット、搬送ユニット等を付加した自動・無人運転可能な機械

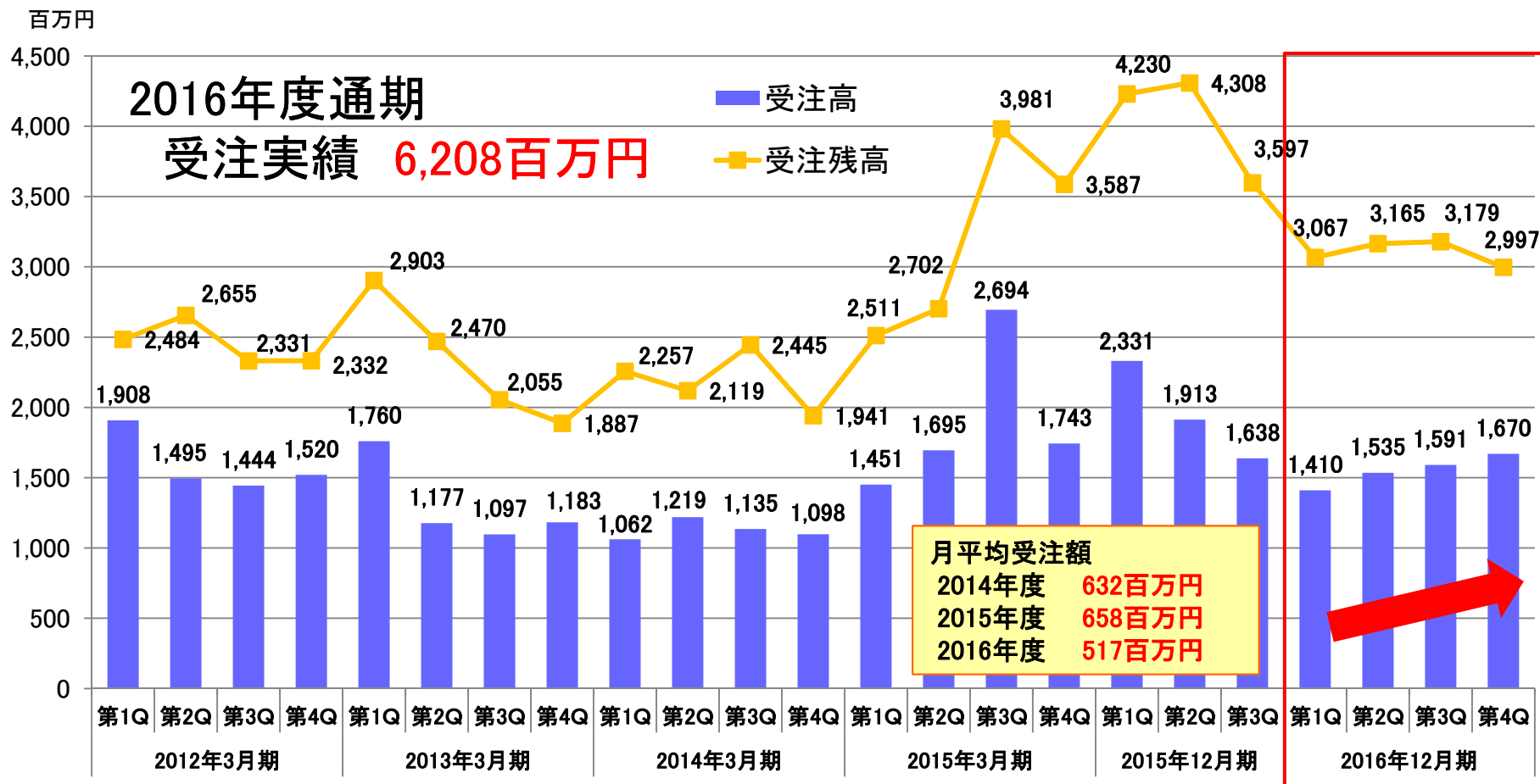
貸借対照表(B/S)

利益確保により、株主資本が増加。

(百万円)	2015年度	2016年度		(百万円)	2015年度	2016年度	
	12月31日 実績	12月31日 実績	増減		12月31日 実績	12月31日 実績	増減
資産の部				負債純資産の部			
流動資産	3,650	3,930	280	流動負債	917	668	▲ 249
現金及び預金	286	436	150	買掛金	282	214	▲ 68
売掛金	1,978	1,748	▲ 230	リース債務	61	62	1
棚卸資産	1,261	1,196	▲ 65	未払金	142	109	▲ 33
前払費用	30	32	2	未払費用	77	80	3
関係会社短期貸付金	-	450	450	未払法人税等	163	142	▲ 21
繰延税金資産	90	59	▲ 31	製品保証引当金	64	38	▲ 26
その他流動資産	3	8	5	その他流動負債	126	20	▲ 106
固定資産	1,372	1,207	▲ 165	固定負債	643	576	▲ 67
建物	670	597	▲ 73	リース債務	610	547	▲ 63
土地	354	297	▲ 57	長期未払金	33	29	▲ 4
その他有形固定資産	233	201	▲ 32	純資産	3,461	3,892	431
無形固定資産	22	32	10	株主資本	3,461	3,892	431
投資その他資産	91	80	▲ 11				
資産合計	5,022	5,138	116	負債純資産合計	5,022	5,138	116

受注高・受注残高(四半期別推移)

2016年度は、第1四半期を底に、四半期毎に受注額は増加。
2017年度の受注も、増加傾向。

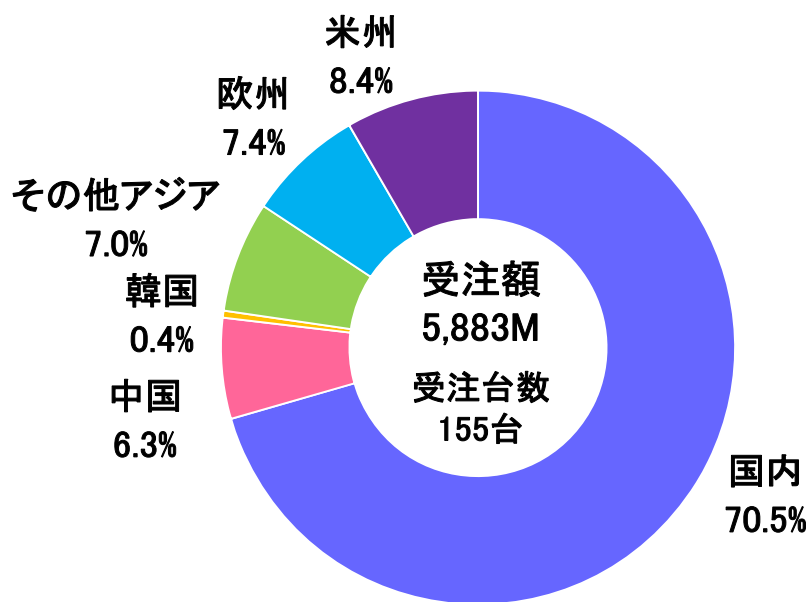


※2015年12月期は決算期変更により2015年4月から12月までの9ヶ月決算となっております。

海外受注比率(据付地・受注金額ベース)

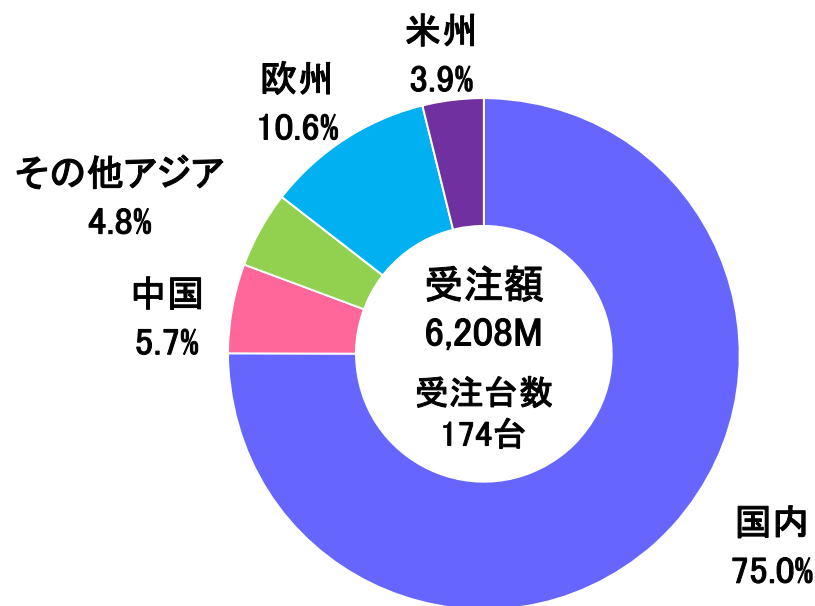
欧州や米州を始めとした幅広い地域の海外現地ユーザからの受注割合が増加。

2015年度 通期



海外29.5%
うち海外現地ユーザ16.5%

2016年度 通期

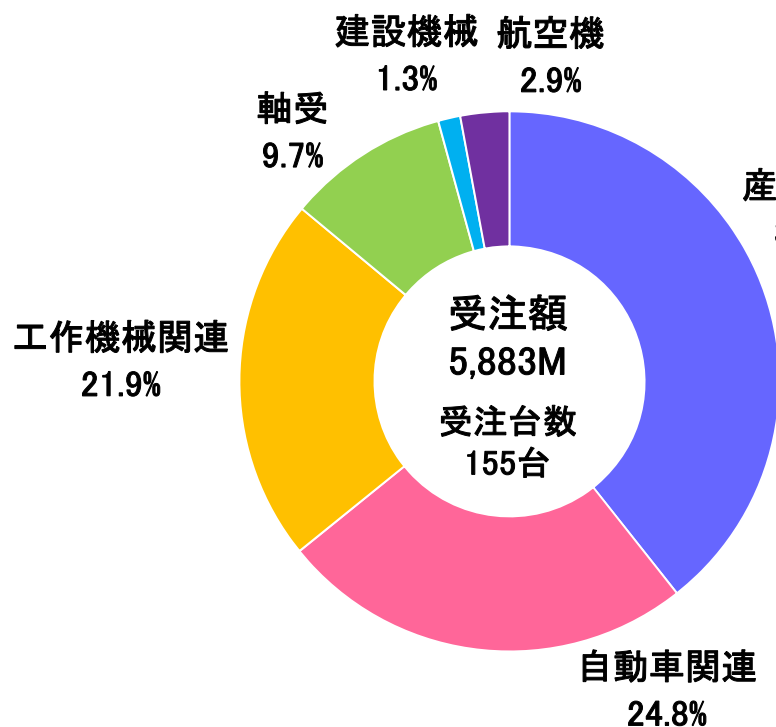


海外25.0%
うち海外現地ユーザ21.0%

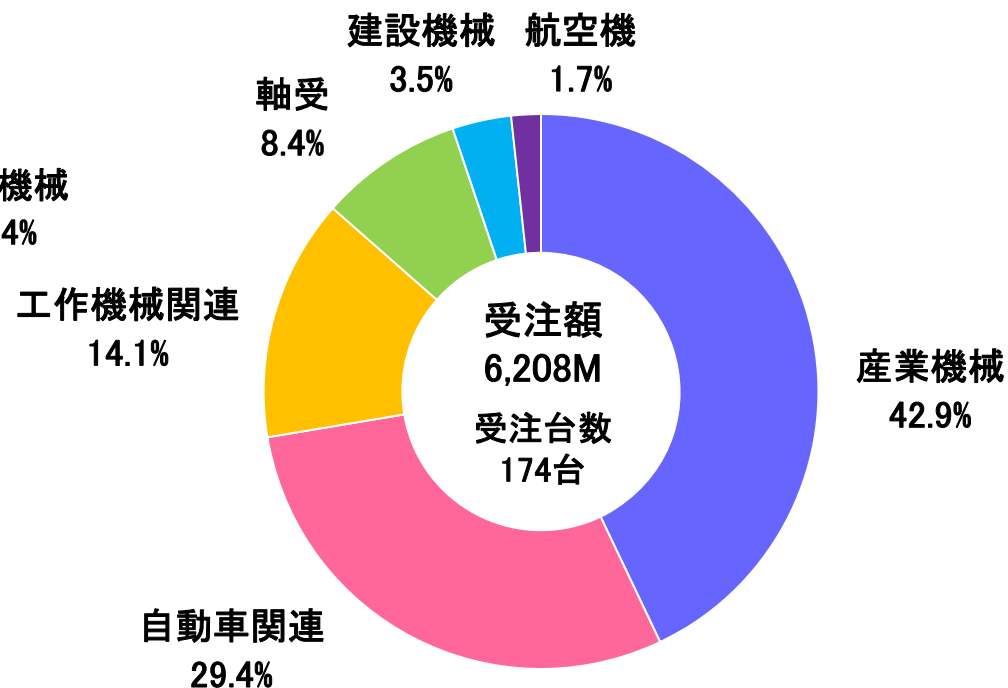
ユーザ業種別受注比率(受注金額ベース)

- ・国内の自動車関連企業から大口受注を獲得。
- ・産業機械関連企業、工作機械関連企業からの受注は堅調を維持。

2015年度 通期



2016年度 通期



2017年度業績予想・配当予想

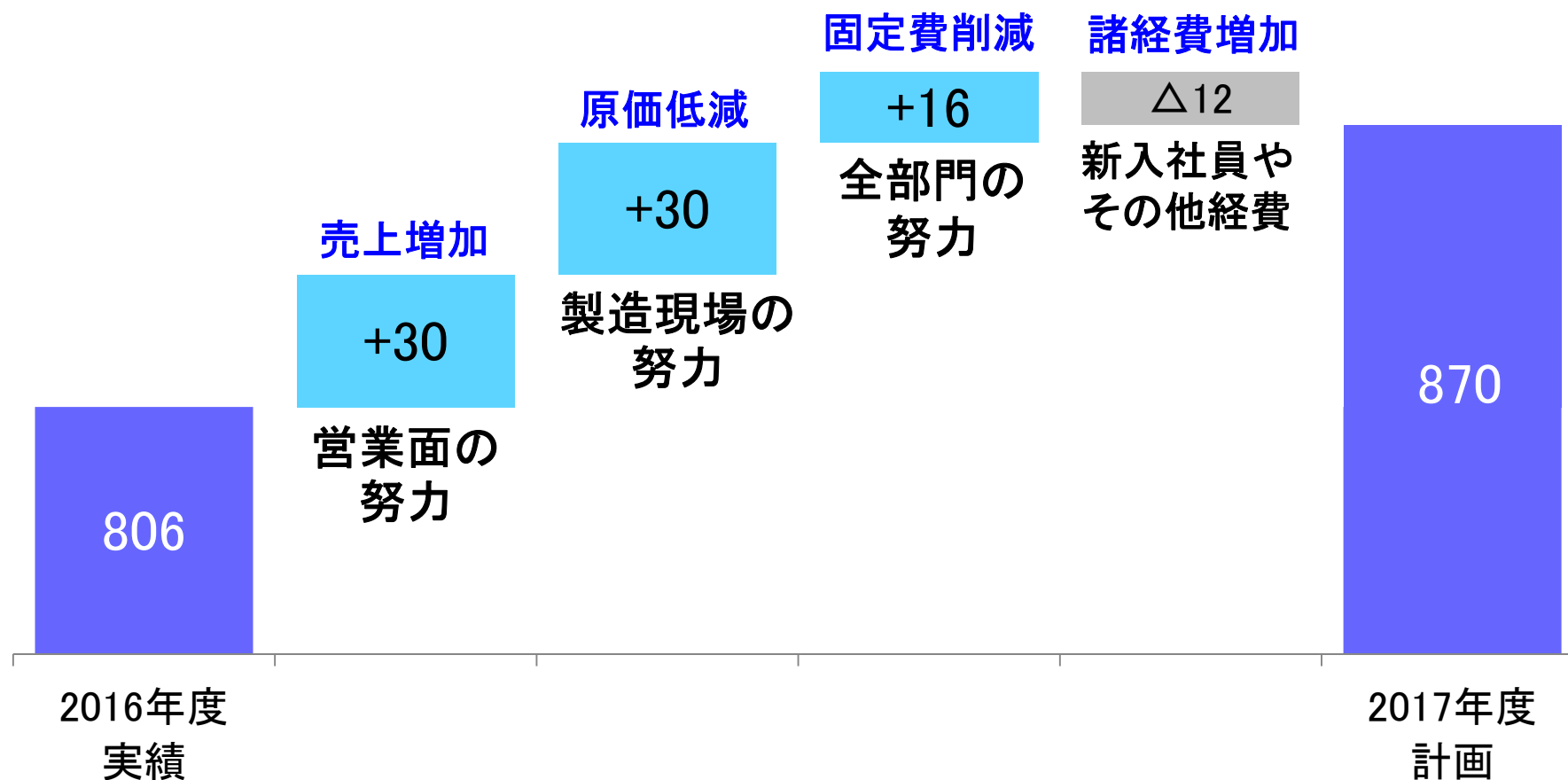
通期売上高は今期を上回る69億円を計画。

(百万円)	2016年度	2017年度			
	通期	上期	通期		
	実績	計画	計画	増減	対前期比
売上高	6,807	3,300	6,900	93	1.4% 増
営業利益	806	400	870	64	7.9% 増
(売上高比率)	(11.8%)	(12.1%)	(12.6%)	0.8 point増	
経常利益	791	390	860	69	8.6% 増
当期利益	489	250	570	81	16.4% 増

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計	配当性向
2014年度 実績	—	0円00銭	—	12円00銭	12円00銭	7.9%
2015年度 実績	0円00銭	—	—	12円00銭	12円00銭	9.5%
2016年度 見込み	—	0円00銭	—	40円00銭	40円00銭	24.0%
2017年度 計画	—	0円00銭	—	40円00銭	40円00銭	20.6%

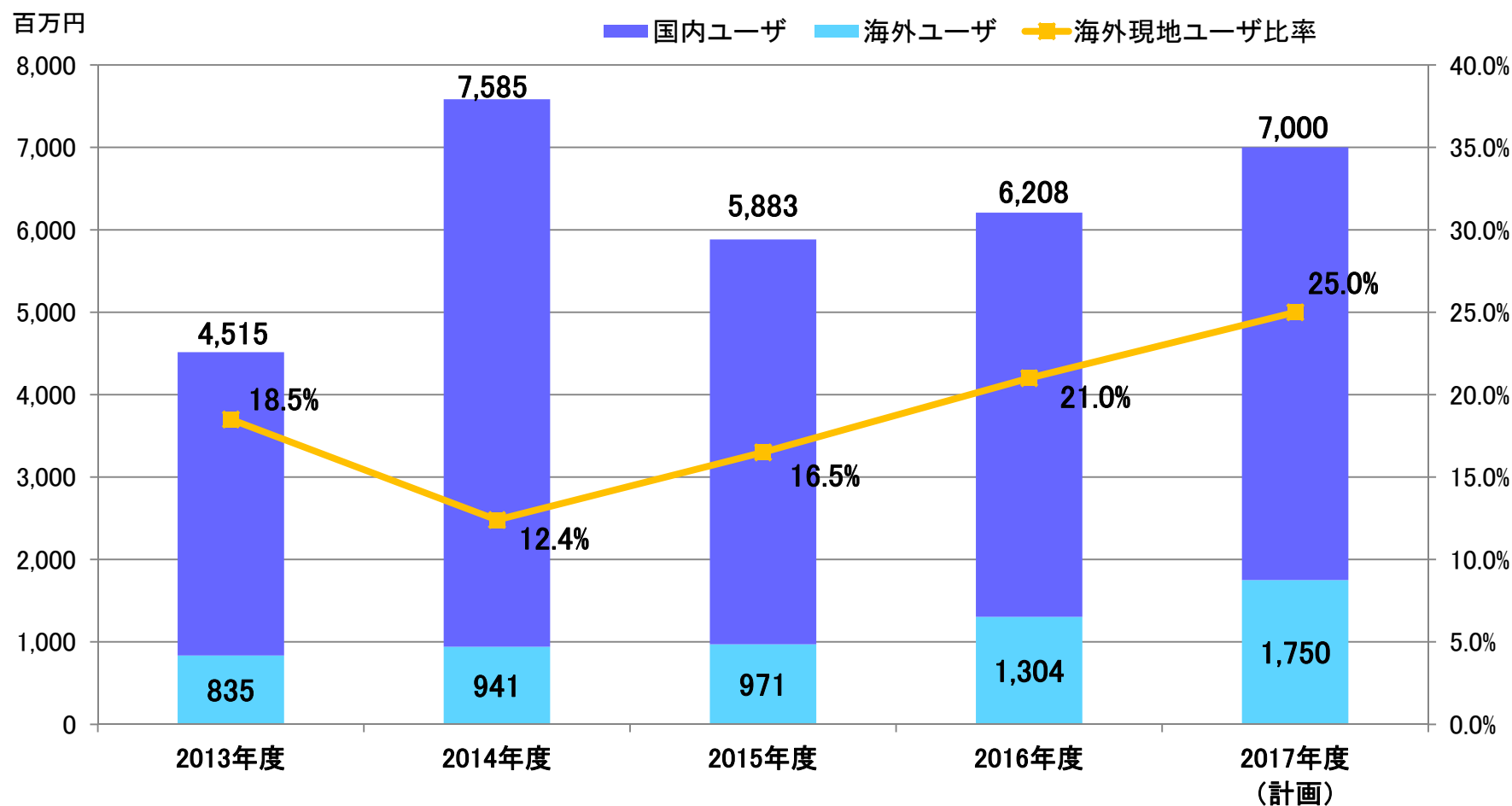
営業利益改善

(百万円)



受注計画

海外ユーザ受注 ⇒ 現地営業スタッフを強化し、受注獲得
国内ユーザ受注 ⇒ 顧客ニーズを掴み、更なる受注拡大



当社の取り組み

2016年度の展示会出展(実績)

太陽工機プライベートショー

2016年7月14日(木)～7月15日(金)

会場:太陽工機本社工場



- ・前年度同様、1,000人を超えるお客様が来場。
- ・当初計画を大きく上回る受注を獲得。
- ・新製品「USG-1」を発表し、お客様から注目を集めた。

JIMTOF2016

2016年11月17日(木)～11月22日(火)

会場:東京ビッグサイト



- ・7月に発表した新製品「USG-1」を含む4機種5台を出展。
- ・多くのお客様にご来場いただき、会期中に多数の受注・引合を獲得。

2016年度の新規開発 USG-1

フロアスペースの効率化を極限まで追求することで
工場の生産性向上を実現！



CNC超小型立形研削盤

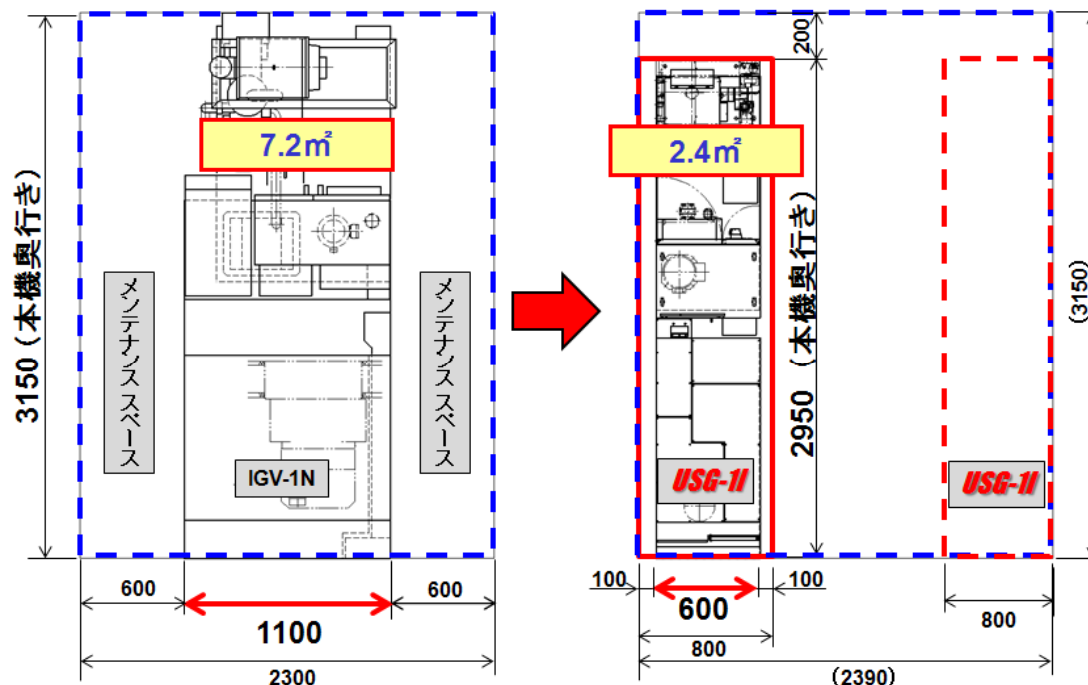
USG-1

2016年7月発売

本体価格 13,800千円＋税

販売目標 年間40台

機械間口を600mm(従来機比**45%削減**)にすることで、
工場のフロアスペースを**66%削減**。



<ターゲットユーザ・ターゲット部品>

小型量産パーツメーカー向け・自動車用のミッションギア等を含む小型部品

2017年度の新規開発(計画)

生産性の向上

カム加工の高能率化

フロアスペースの効率化

立形高速カム研削盤

<ターゲットユーザ>
自動車関連:エンジンカム・
コンプレッサ関連部品
油圧関連:ポンプ

超小型立形研削盤

2016年度の新機種「USG-1」の
ラインナップを拡充

<ターゲットユーザ>
自動車関連の小型量産部品

Coming Soon!

2017年6月22、23日開催予定の
太陽工機プライベートショーにて発表予定!

営業施策

グローバル営業の強化

- ・ユーザへのダイレクトな技術提案営業の推進
- ・世界最大手メーカー ⇒ 中堅メーカーへの展開
- ・駐在員及び現地技術営業スタッフによる営業活動の強化
- ・DMG森精機主催の展示会及び現地展示会への出展
- ・サービスマン駐在による海外サービス体制の確立

米州

<ターゲット業種>

航空機、産業機械、
建設機械、ベアリング 関連

欧州

<ターゲット業種>

産業機械、航空機、
自動車 関連

アジア

(中国、韓国、台湾、他)

<ターゲット業種>

産業機械、建設機械、
自動車 関連

国内市場の掘り起こし

- ・自動車関連業界、産業機械関連業界への新製品の投入、拡販
- ・立形以外の横形研削盤、カムリング研削盤、ネジ研削盤の拡販
- ・リピートユーザの需要掘り起こし

2017年度 展示会出展予定

展示会	開催期間
DMG森精機 Pfronten オープンハウス(ドイツ)	2/14～2/18
(株)東陽 E-mono MEGAMAX(刈谷)	3/9～3/10
DMG森精機 小倉プライベートショー(北九州)	4/6～4/8
CIMT 2017(中国)	4/17～4/22
DMG森精機USA Chicago(アメリカ)	5/16～5/19
DMG森精機 Innovation Days(伊賀)	6/20～6/24
太陽工機 プライベートショー2017(長岡)	6/22～6/23
EMO 2017(ドイツ)	9/18～9/23
メカトロテックジャパン 2017(名古屋)	10/18～10/21
METALEX 2017(タイ)	11/22～11/25

お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成したのもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

お問合せ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL : 0258-42-8808

URL : <http://www.taiyokoki.com>